

【民主党政権の実績評価に関するアンケート】 集計結果

2010年6月22日

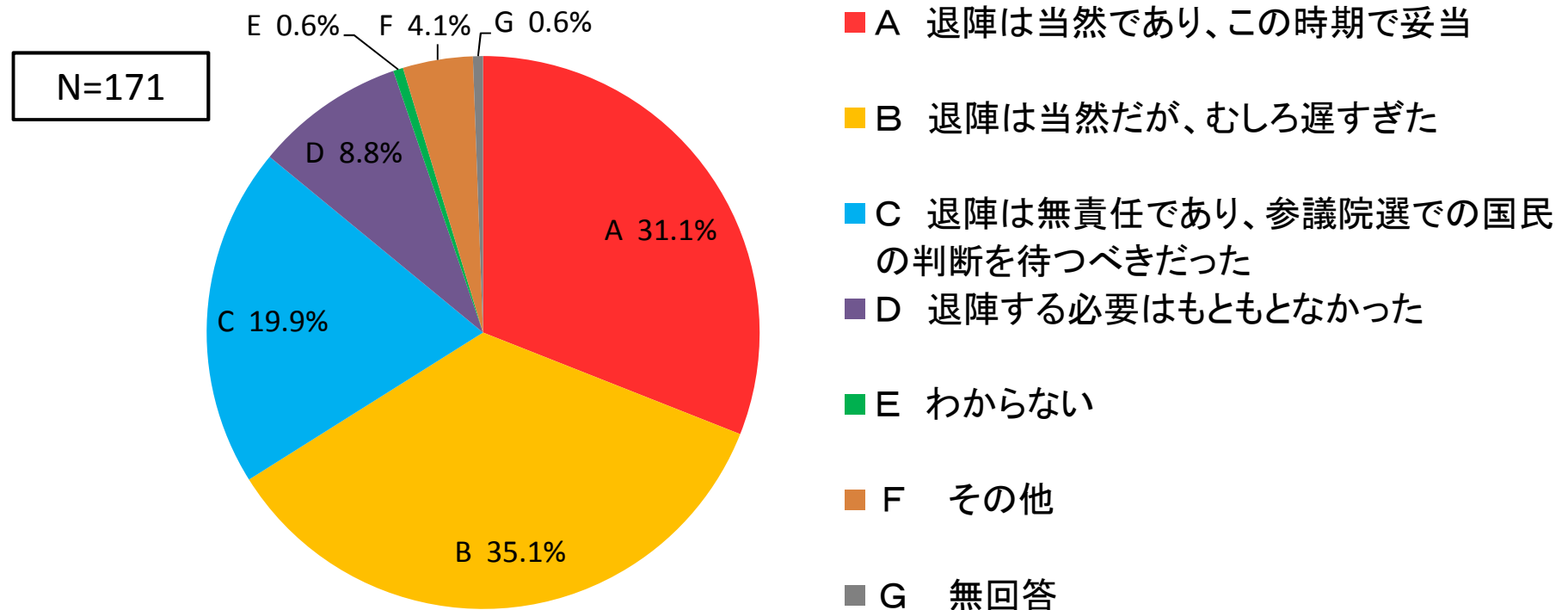


Copyrights(c) Genron-NPO All Rights Reserved

鳩山首相の辞任をどう考えるか

問1. 鳩山首相はわずか8ヶ月半の短命で退陣に追い込まれました。この時点での首相の辞任をどう考えましたか。【単数回答】

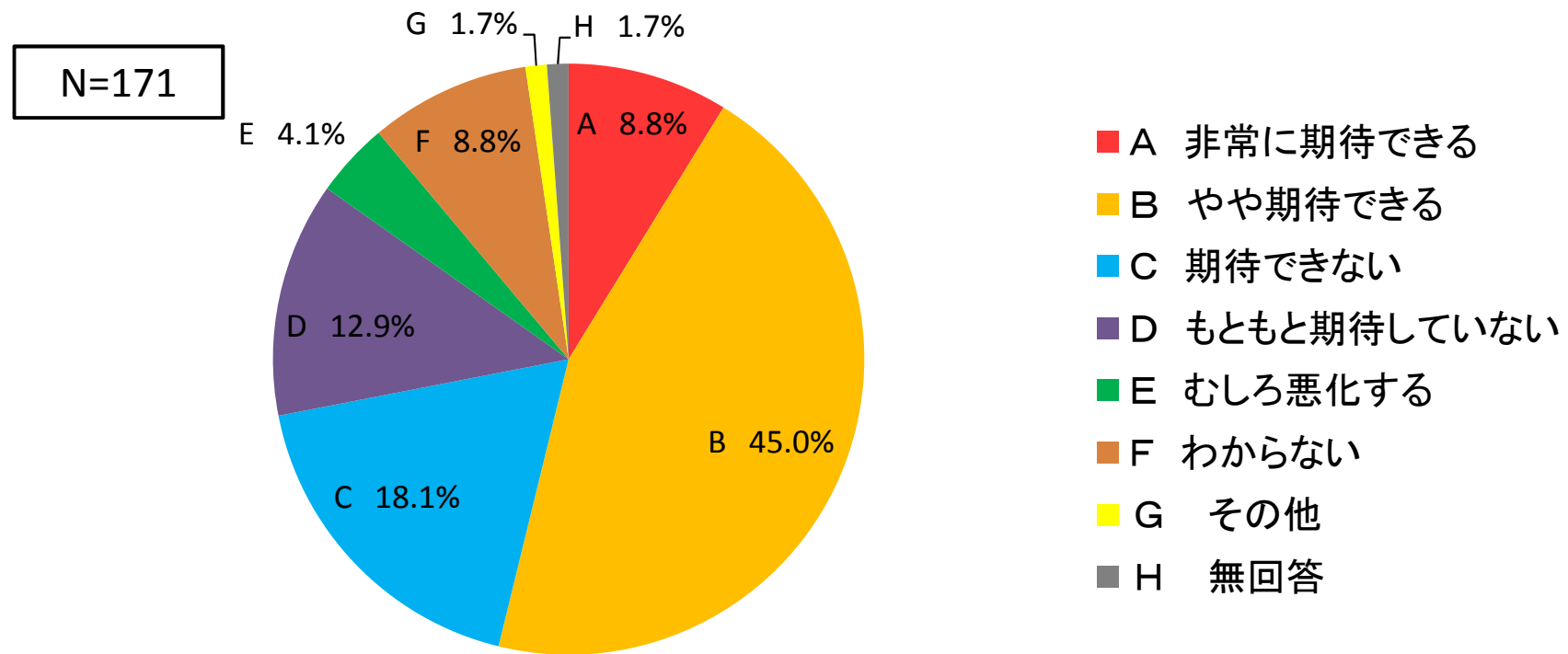
「退陣は当然」との回答が6割を超える一方、「退陣は無責任であり、参議院選での国民の判断を待つべきだった」との回答も2割近くありました。



民主党は再生に向かって動き出せるか

問2. 鳩山首相の辞任と同時に小沢幹事長も辞任しました。2人の民主党のトップ交代により、民主党は生まれ変わって、再生に向けて動き出せると期待できますか。【単数回答】

「非常に期待できる」「やや期待できる」との回答が半数を超えました。一方で「期待できない」「もともと期待していない」「むしろ悪化する」との回答も3割にのぼっています。

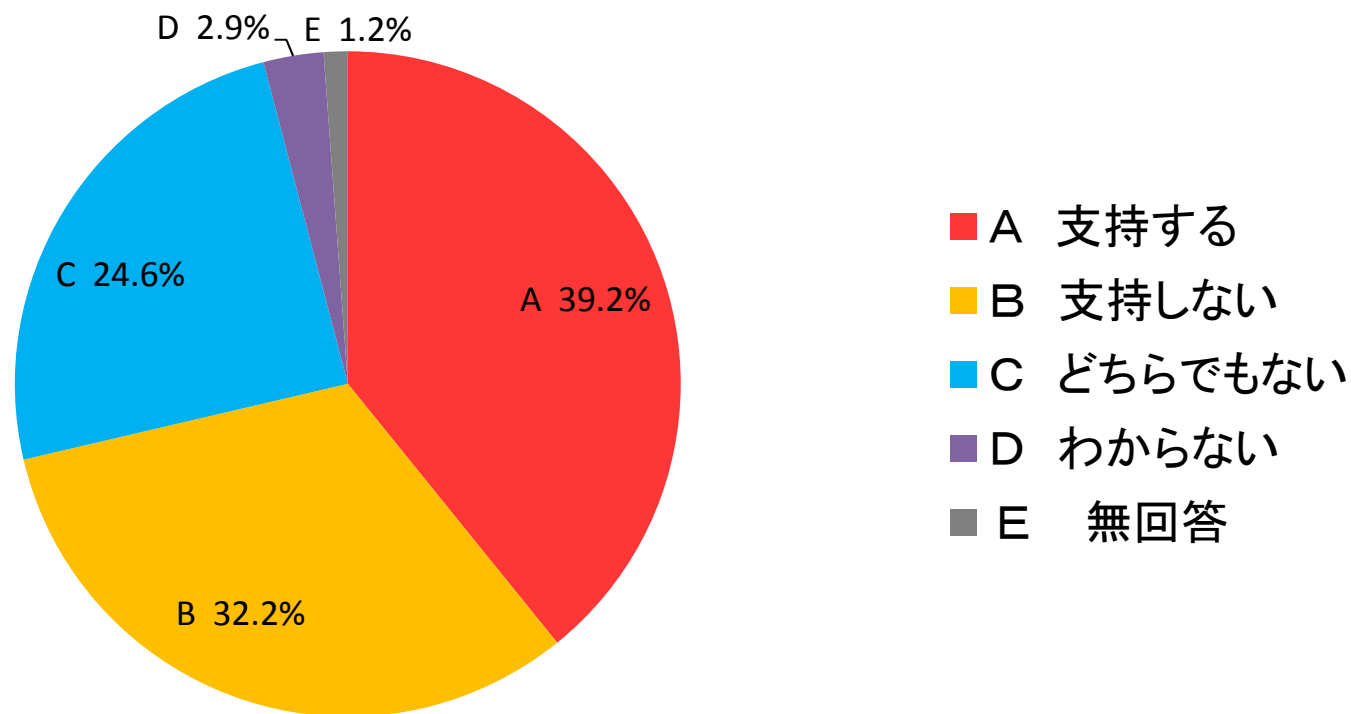


現時点で民主党政権を支持するか

問3. 鳩山政権の総辞職後の現在、あなたは民主党並びに民主党の政権を支持していますか。【単数回答】

支持する(39%)がわずかに支持しない(32%)を上回りました。

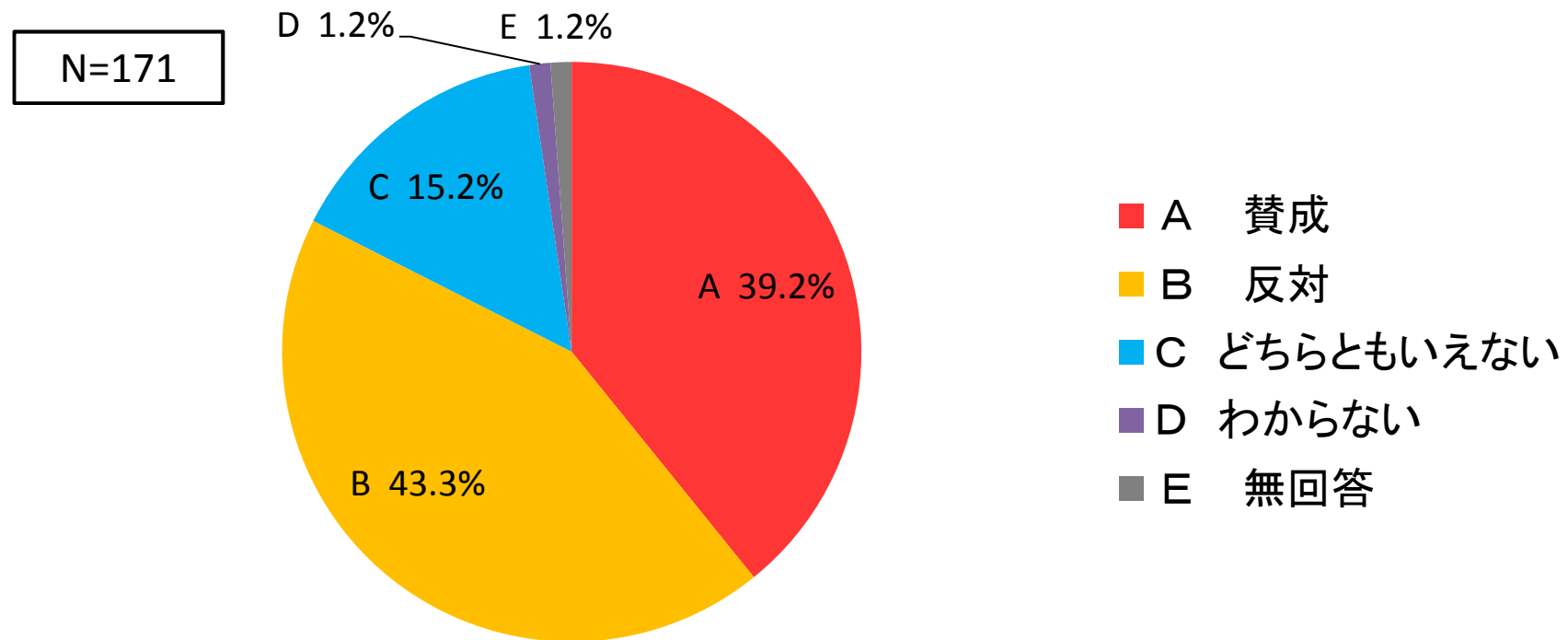
N=171



解散すべきか

問4. 鳩山政権の総辞職に伴い衆議院を解散し、総選挙で国民に新政権の信を問うべきとの意見があります。あなたは解散すべきという意見に賛成ですか、反対ですか。【単数回答】

衆議院の解散については、賛成するとの回答が39%となったのに対し、反対するとの回答も43%にのぼり、大きく意見が分かれています。

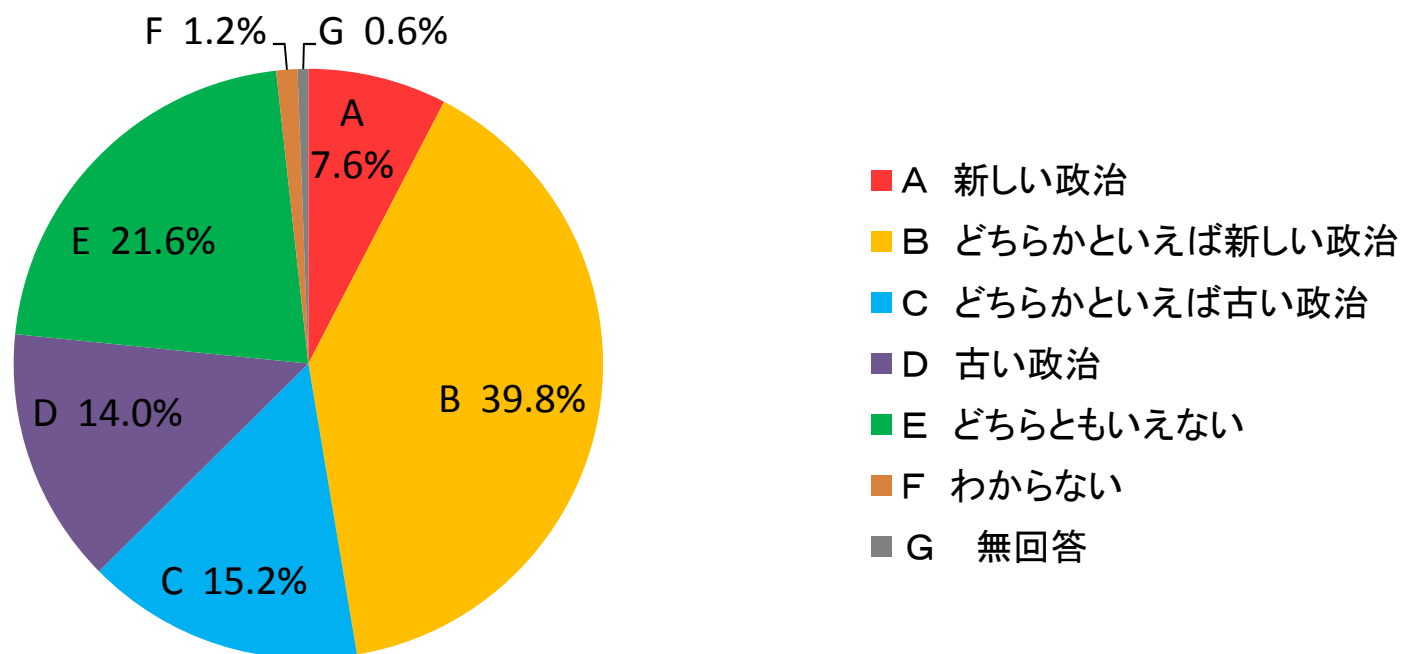


鳩山政権は「新しい政治」だったか

問5. あなたにとって、これまでの鳩山政権のイメージは、国民に開かれた「新しい政治」だと感じましたか。それとも従来型と変わらない、利益誘導型の「古い政治」のままだったと思いますか。【単数回答】

半数近い人が「新しい政治」を感じていますが、「どちらとも言えない」として判断を留保する回答も22%ありました。

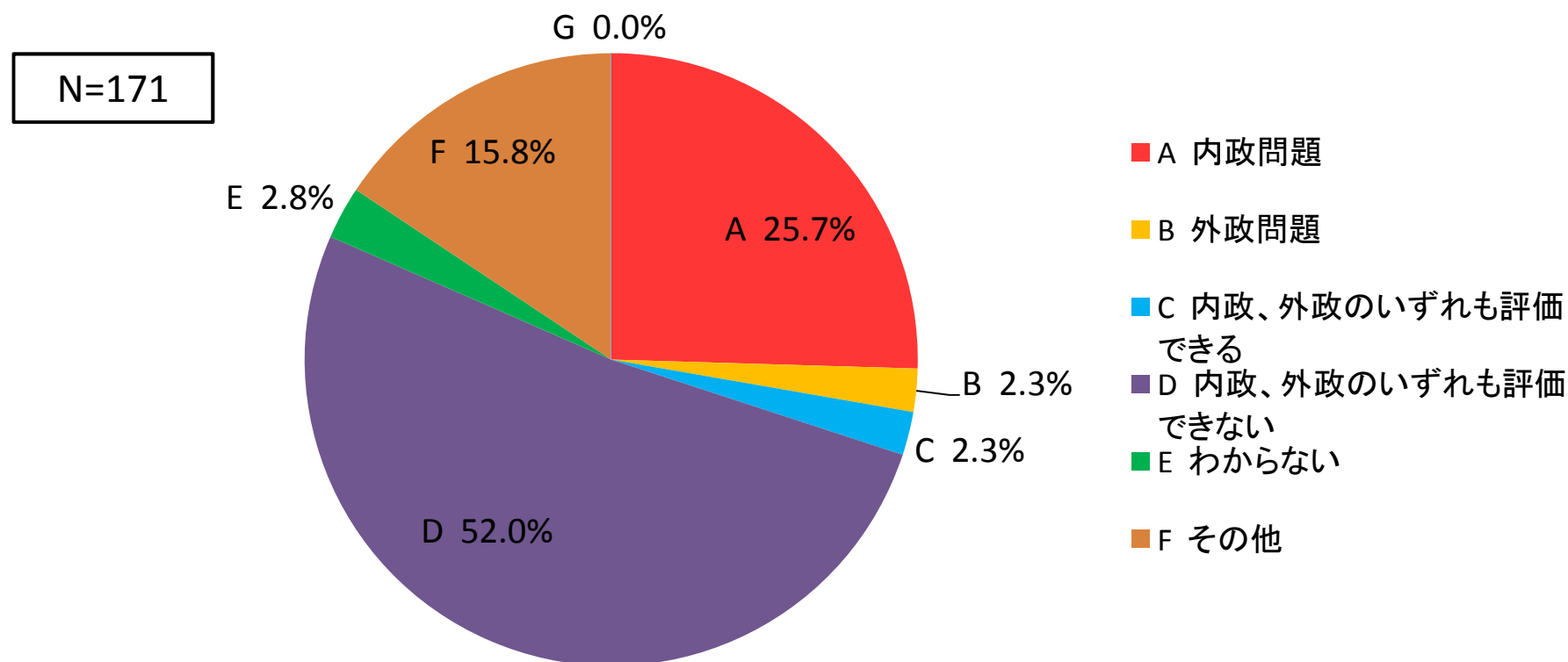
N=171



8カ月半で評価できるものは何か

問6. 鳩山政権のこれまでの8カ月半で、評価できるものは何だと思いますか。【単数回答】

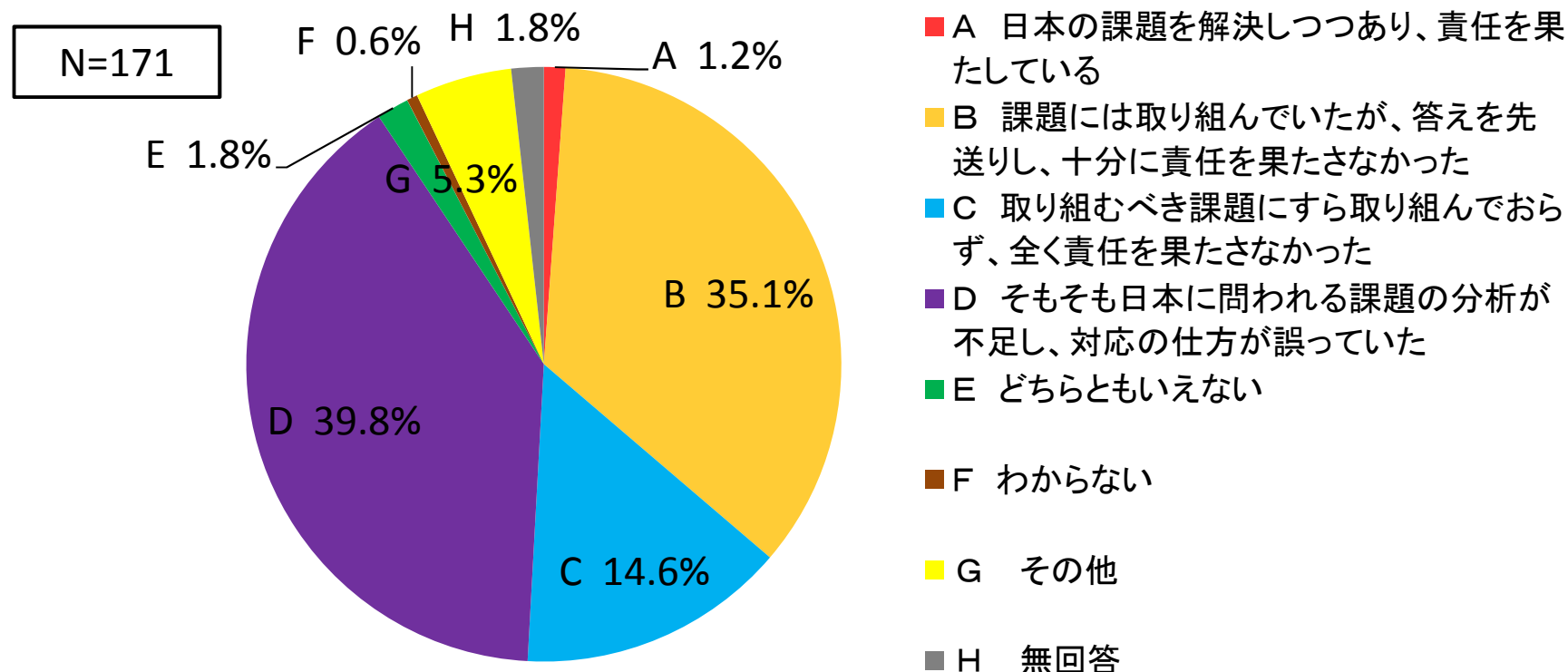
過半数の人(52%)が、「内政、外交のいずれも評価できない」と回答しています。



未来に向かい合うという責任を果たしたか

問7. 前の鳩山政権は日本が抱えている課題を解決し、未来に向かい合うという点で責任を果たしたと思いますか。【単数回答】

「日本の課題を解決しつつあり、責任を果たしている」との回答は1%にすぎず、責任を果たせていない、あるいは「そもそも日本に問われる課題の分析が不足し、対応の仕方が誤っていた」との回答が多数を占めました。

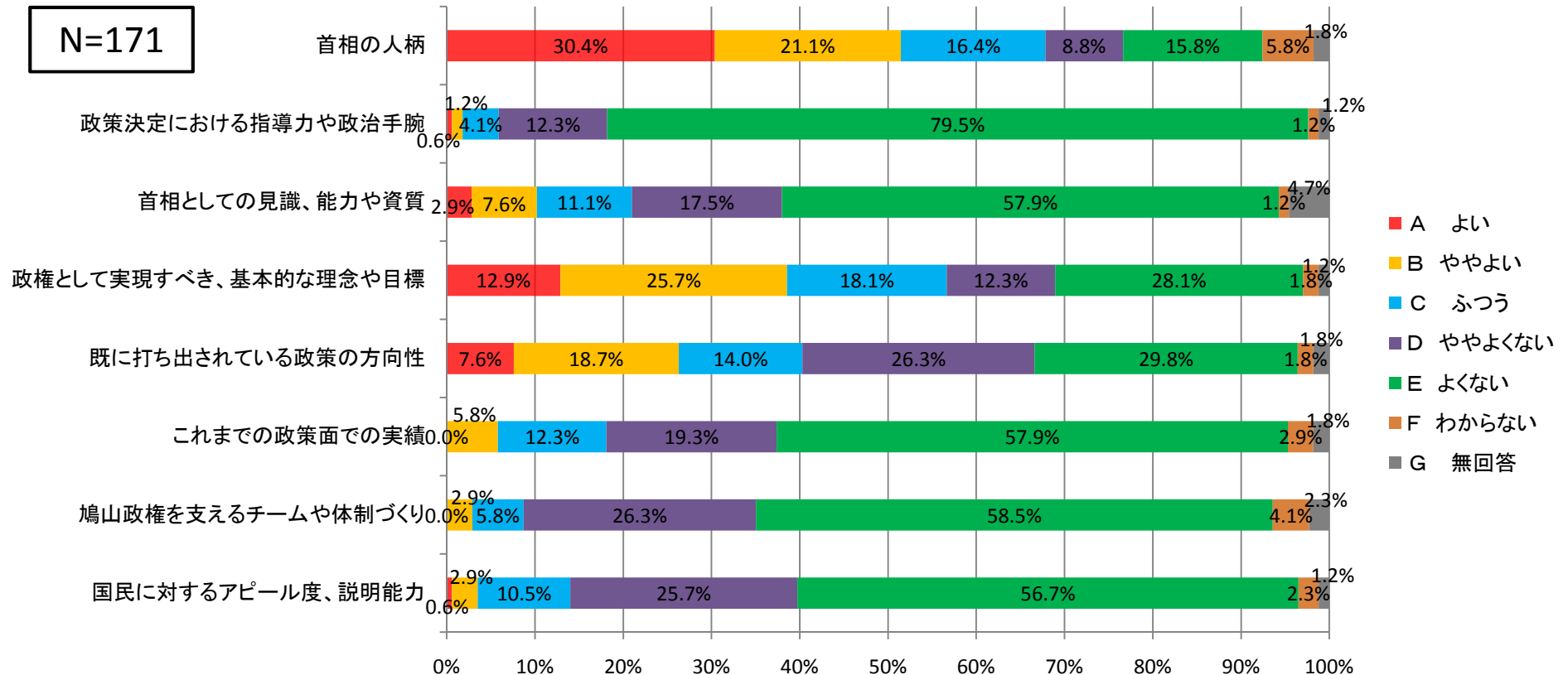


首相の実績、資質をどう評価するか①

問8. 鳩山首相の在任中の実績や首相としての資質に関して以下の項目をあなたはどのように評価しますか。【単数回答】

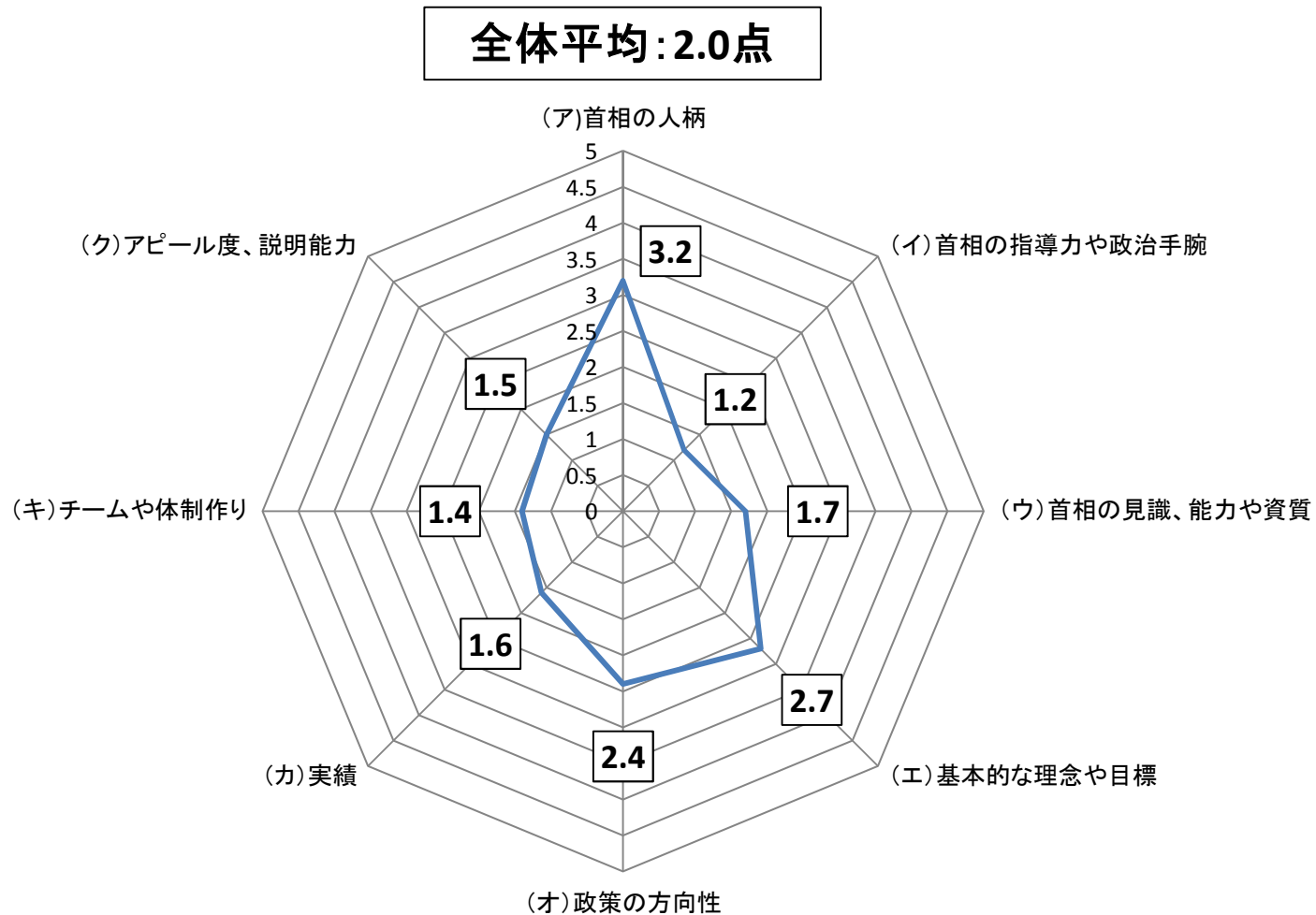
「首相の人柄」や「基本的な理念、目標」については好意的な評価が多い一方、「政策決定における指導力や政治手腕」「チーム、体制作り」「説明能力」では厳しい回答が多数を占めました。

N=171



首相の実績、資質をどう評価するか②

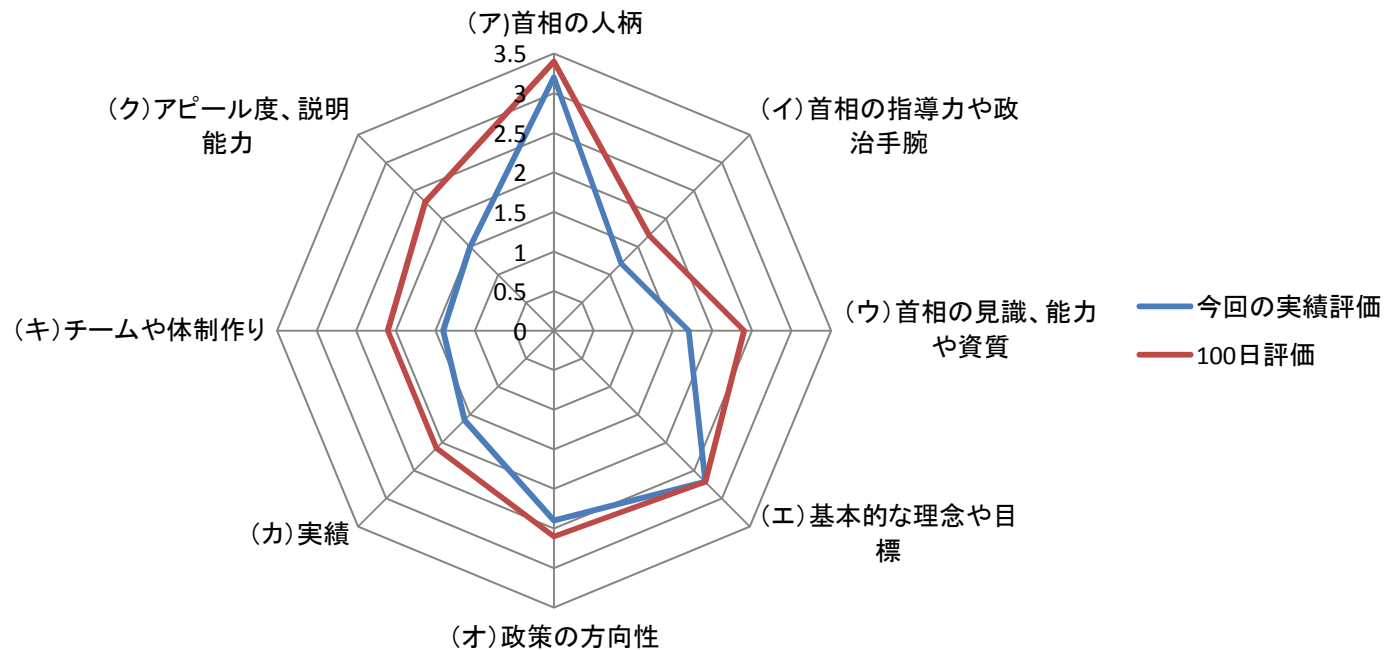
首相の実績や資質は、5点満点で2.0点。100日時点同様、「人柄」への評価は高いものの、「首相の政治力や政治手腕」「チームや体制作り」については非常に低い評価となっています。



首相の実績、資質をどう評価するか②

(鳩山政権100日時点との比較)

100日時点での評価と比較するとほぼすべての項目で評価が下がっています。
「首相の指導力や政治手腕」、「アピール度、説明能力」について特に評価が下がっていることが分かります。



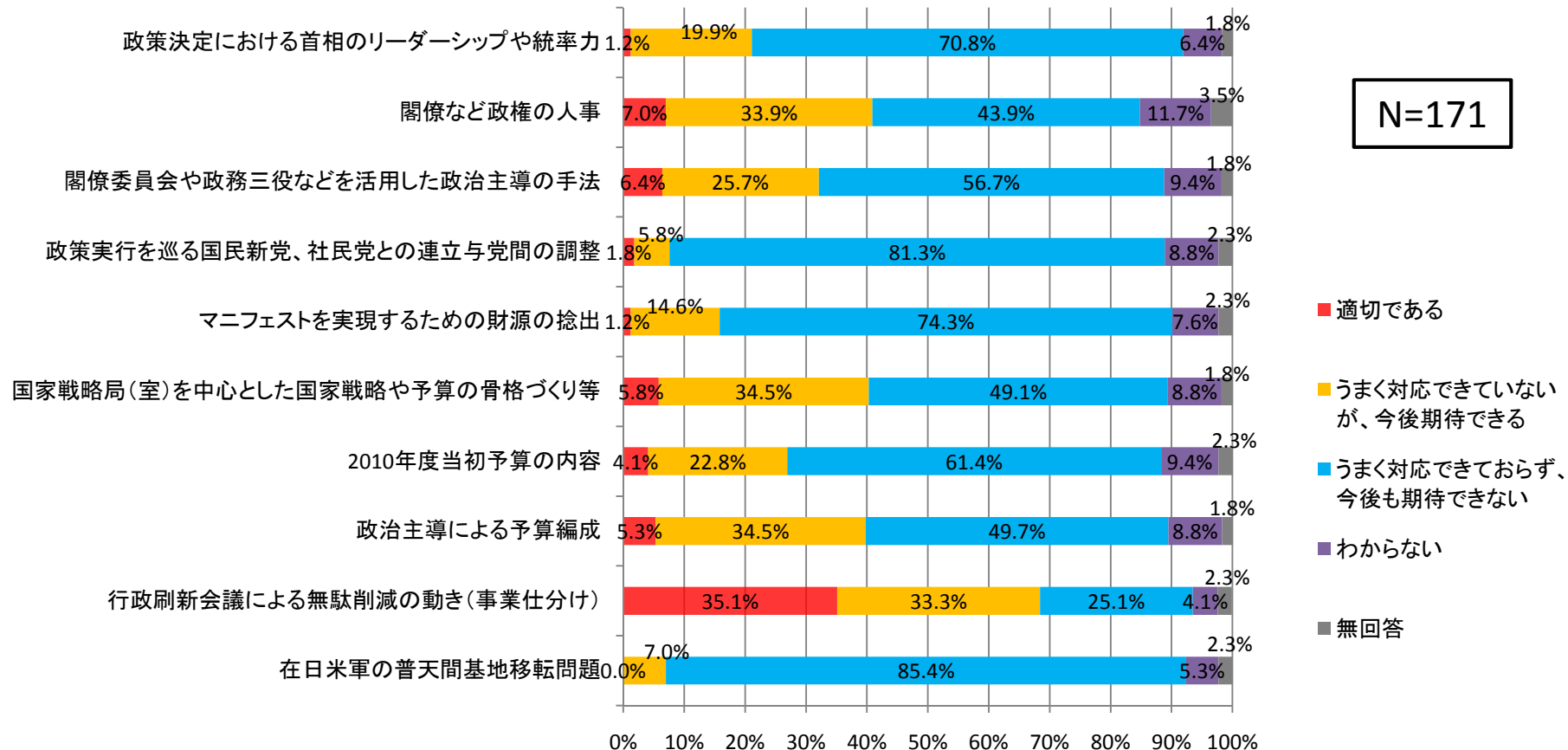
	(ア)首相の人柄	(イ)首相の指導力や政治手腕	(ウ)首相の見識、能力や資質	(エ)基本的な理念や目標	(オ)政策の方向性	(カ)実績	(キ)チームや体制作り	(ク)アピール度、説明能力
今回の実績評価	3.2	1.2	1.7	2.7	2.4	1.6	1.4	1.5
100日評価	3.4	1.7	2.4	2.7	2.6	2.1	2.1	2.3

政策の実行過程や実績をどう評価するか①

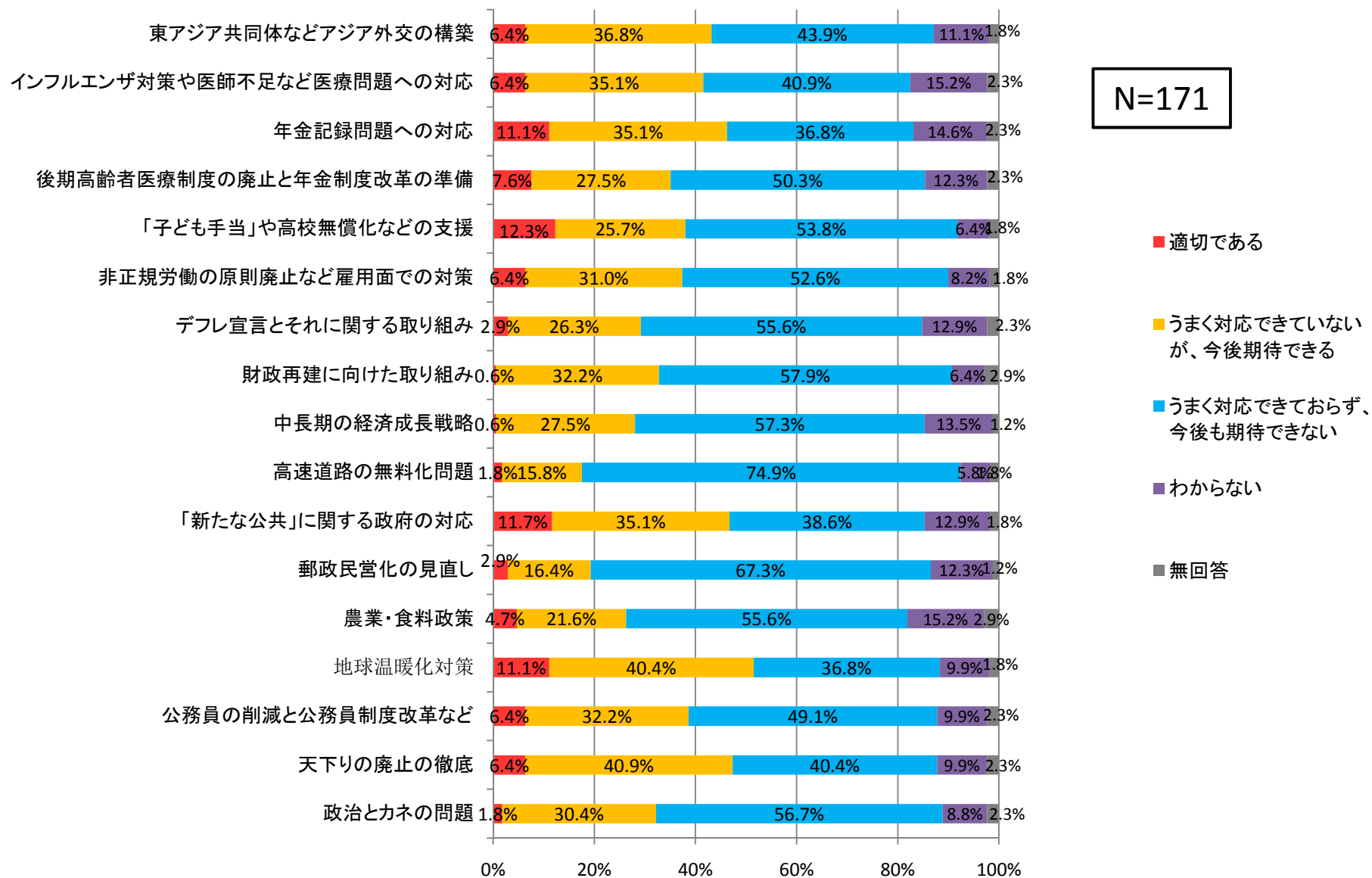
問9. 鳩山政権の政策の実行過程や実績について、あなたはどう判断しますか。【単数回答】

事業仕分け等に関して評価が高かった一方で、連立与党間の調整、普天間基地移設問題や郵政民営化の見直しについては「うまく対応できておらず、今後も期待できない」との回答が多数を占めました。

N=171



政策の実行過程や実績をどう評価するか②



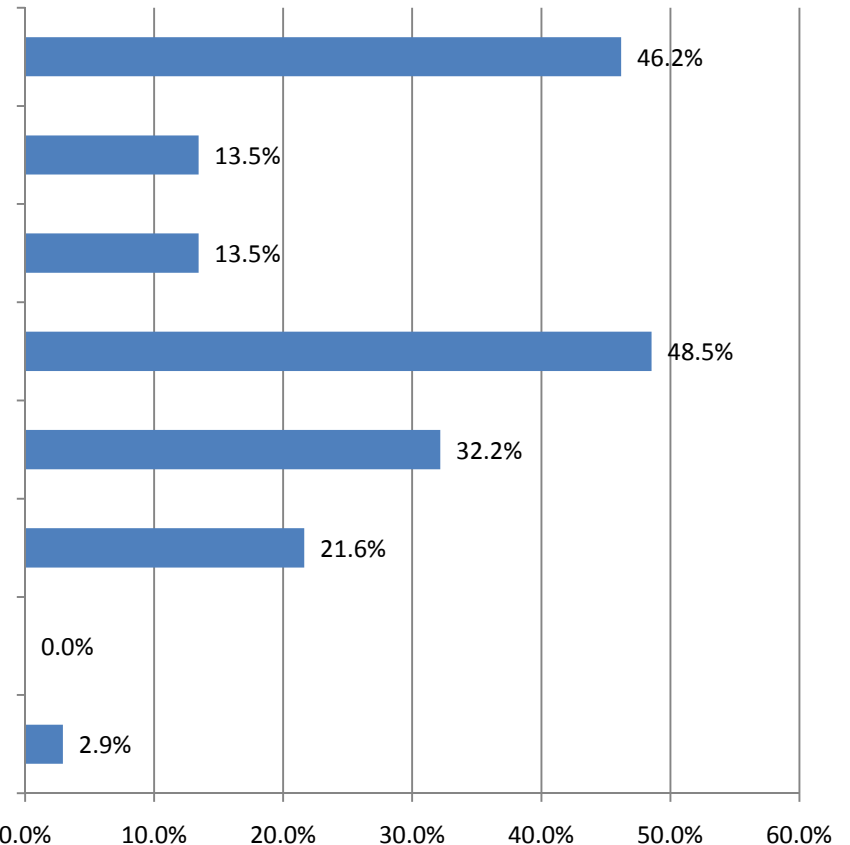
日本の政治の現状をどう判断するか

問10. あなたは、日本の政治の現状をどのように判断していますか。【複数回答】

「新しい国や政府、社会のあり方を模索する時期」、「政界再編や新しい政治に向けて再考が始まる時期」として、政治の変化を期待する回答が多くなっています。

N=171

これまでの政治を一度壊し、新しい国や政府、社会のあり方を模索する時期



日本の改革のビジョンや課題解決の競争によって、本当の二大政党制をつくりだす時期

二大政党制そのものへの懷疑から、二大政党を軸に動いていた政治の仕組みが見直される時期

既成政党の限界も明らかになり、政界再編や新しい政治に向けて再考が始まる過度期

未来の選択肢が政党から提起されないまま、サービス合戦や官僚たきに明け暮れ、ポピュリズムが一層強まる時期

政治の展望が見えないまま混迷や空白の始まり

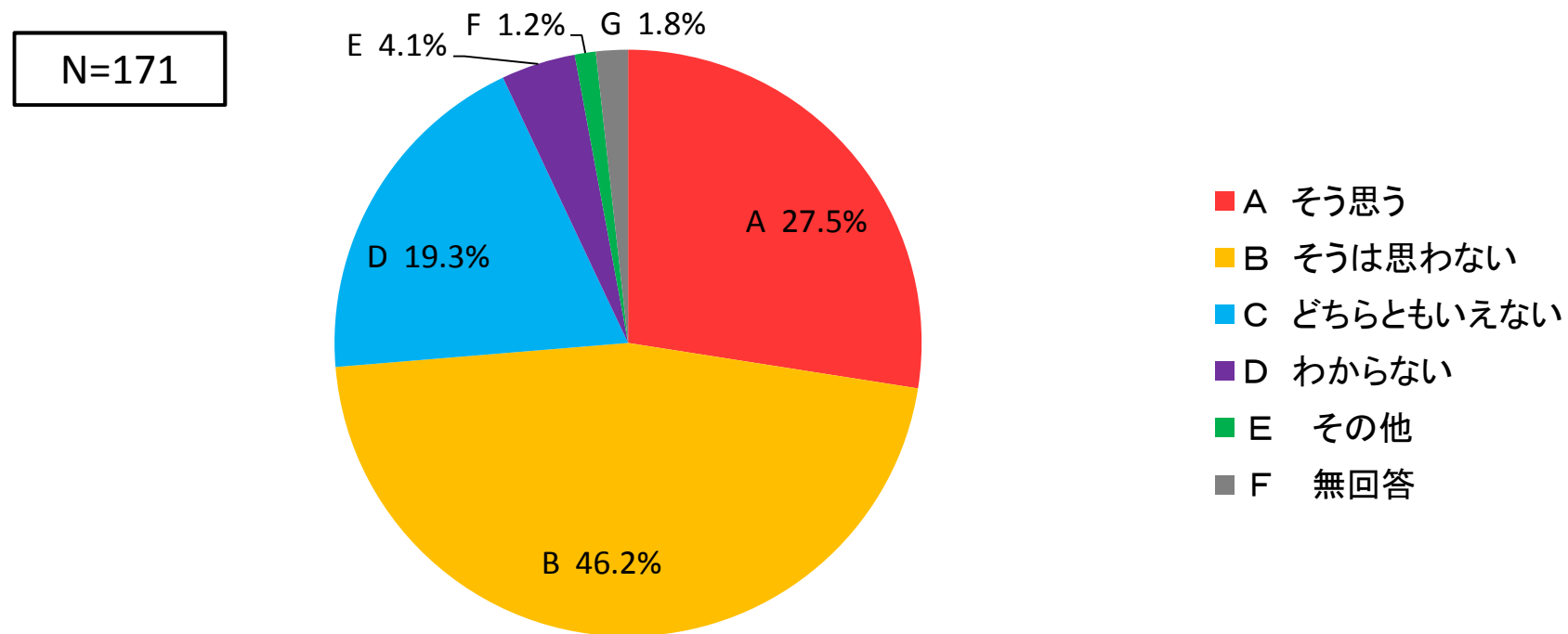
わからない

その他

二大政党制を目指すべきか

問11. あなたは、二大政党制が日本の政治で目指すべき政治だと思いますか。【単数回答】

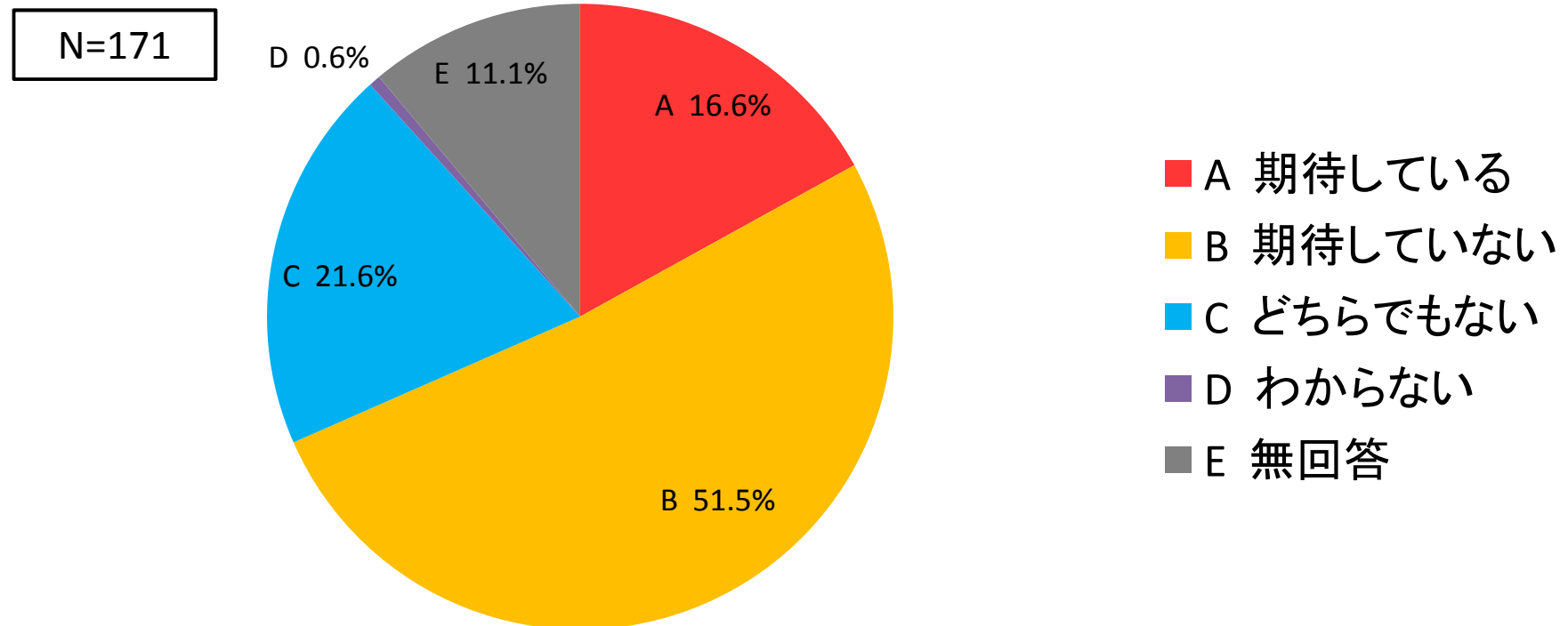
半数近い人が、二大政党制は日本の政治で目指すべき政治でないと回答する一方で、27%の人が「そう思う」と回答しています。



既存政党に期待するか

問12. あなたは、現在の既存政党に期待していますか【単数回答】

過半数以上の人々が、「現在の既存政党に期待していない」と回答しています。

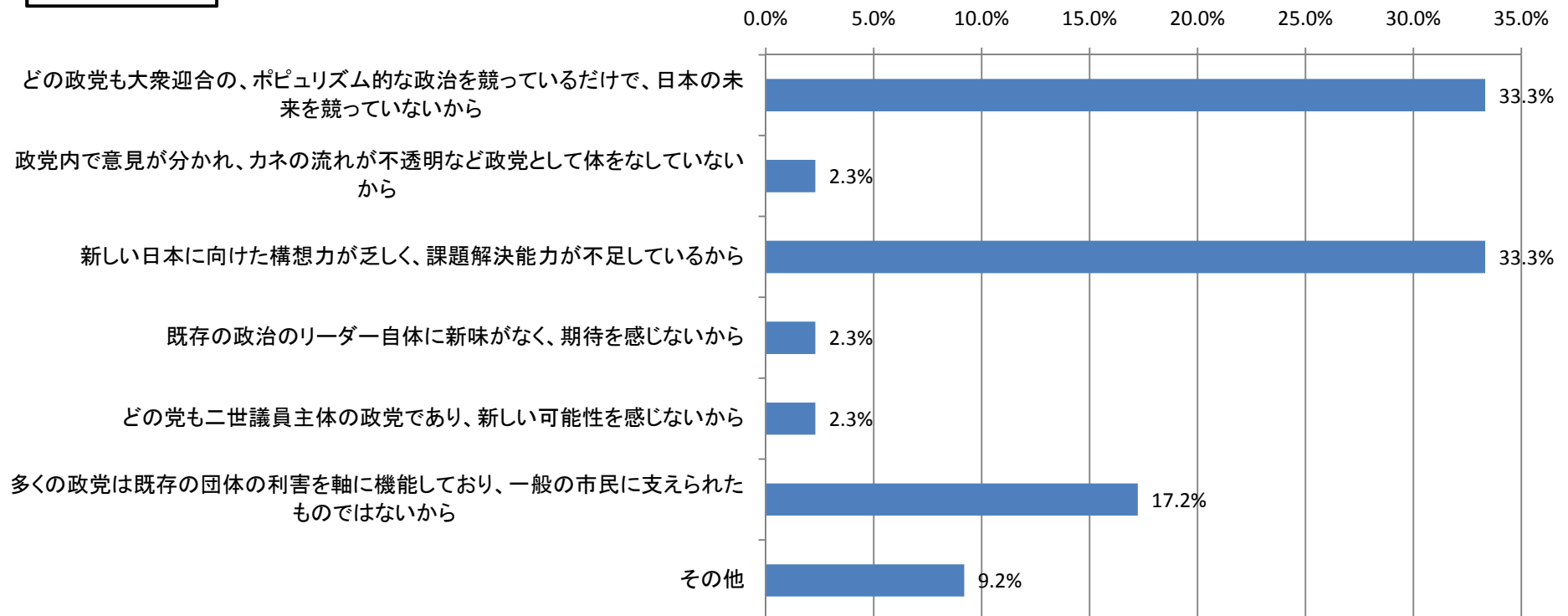


なぜ既存政党に期待できないのか

問12SQ. 日本の既存政党に「期待していない」と考えた理由は何ですか。【単数回答】

「どの政党も大衆迎合の、ポピュリズム的な政策を競っているだけで、日本の未来を競っていないから」、「新しい日本に向けた構想力が乏しく、課題解決能力が不足しているから」との回答が多数を占めました。

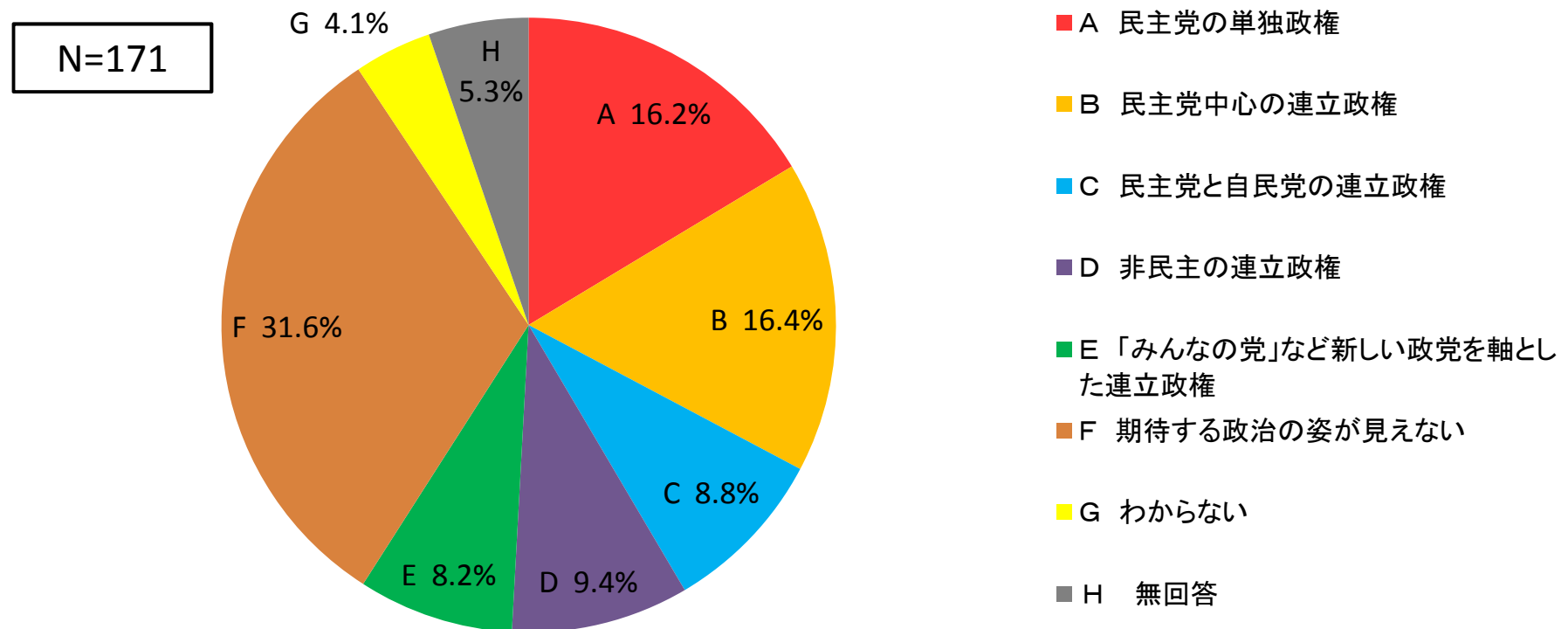
N=87



期待する政権は

問13. あなたは、今後の日本の政治で、期待するのはどのような政権ですか。【単数回答】

民主党やそれ以外の政党に対する期待もある一方で、「期待する政治の姿が見えない」との回答も32%にのぼっています。

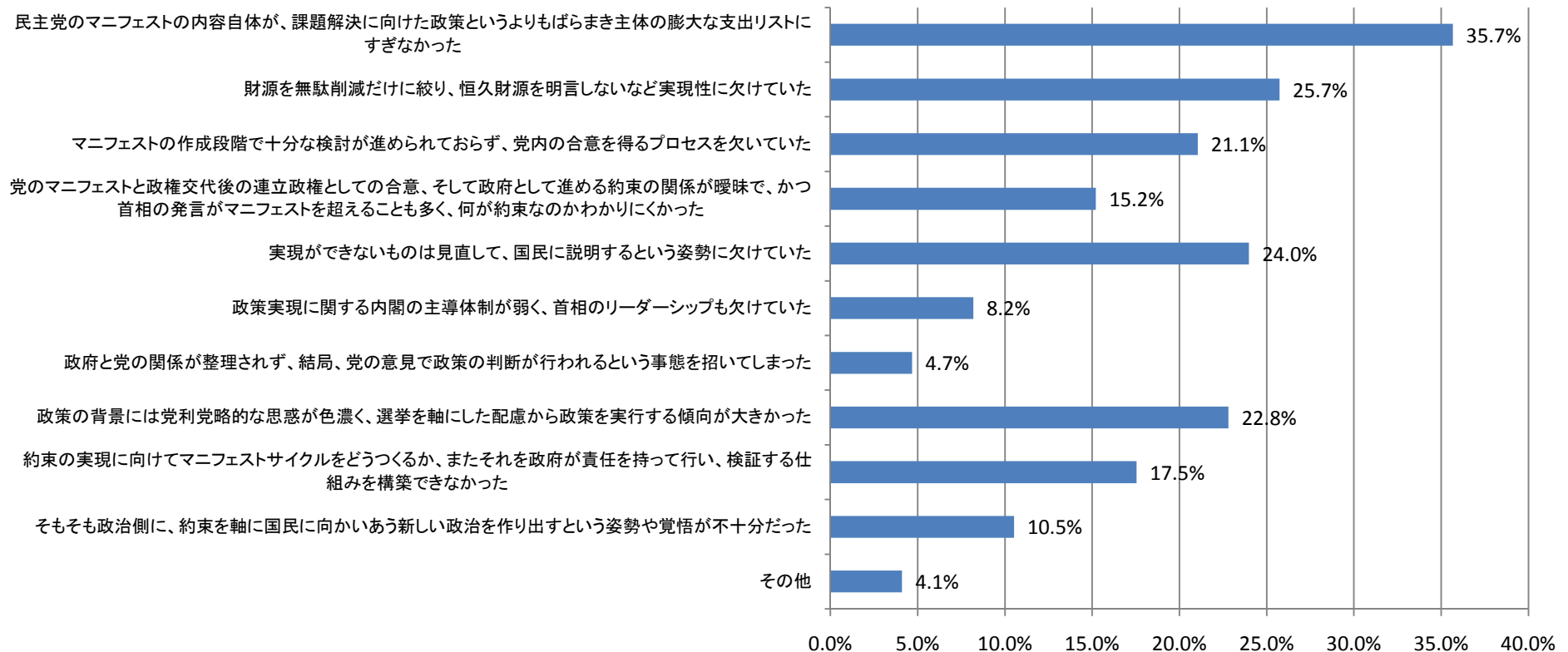


マニフェストのどこに問題があったのか

問14. 民主党のマニフェストはその多くが実質的な修正に追い込まれました。どこに大きな問題があったと思いますか。【複数回答(2つまで)】

最も多かった回答は、「民主党のマニフェストの内容自体が、課題解決に向けた政策というよりもばらまき主体の膨大な支出リストにすぎなかった」でした。

N=171

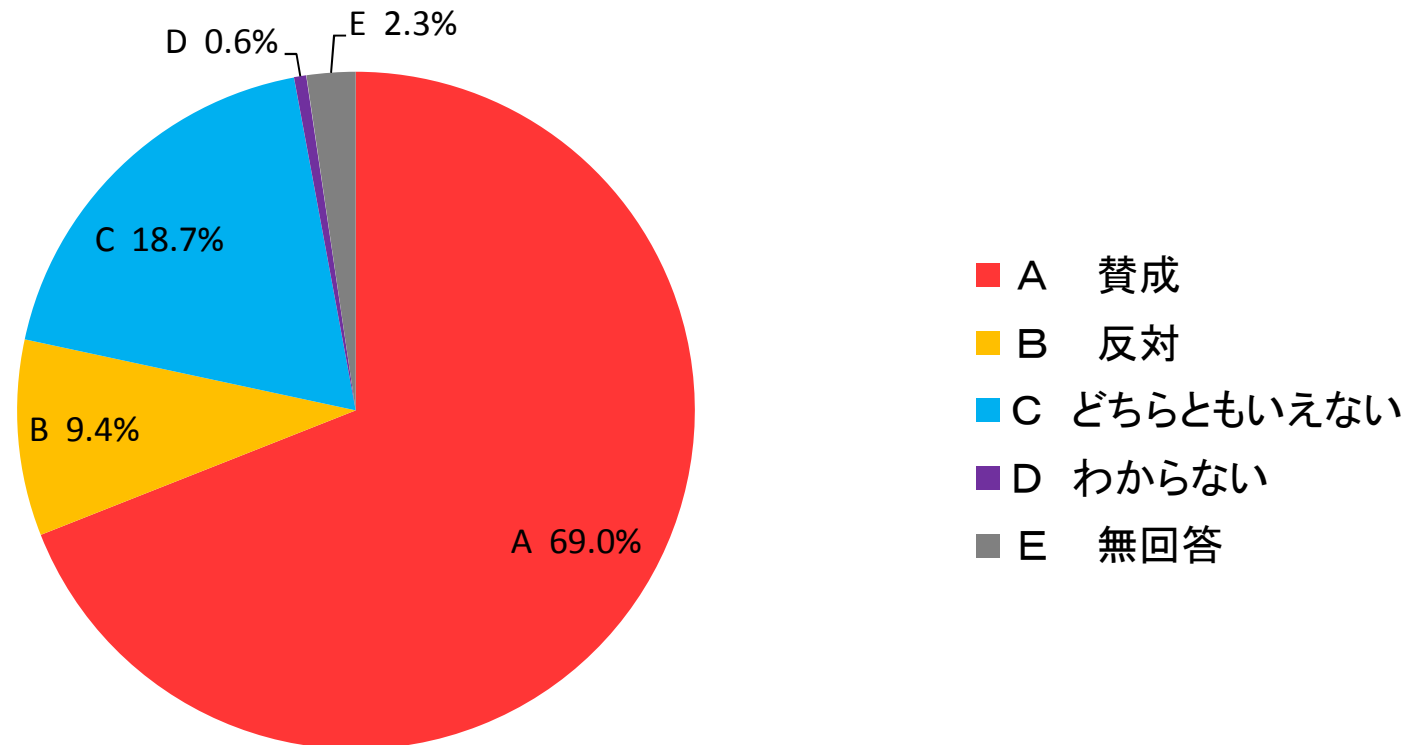


マニフェスト政治について

問15. あなたは、国民との約束を軸としたマニフェスト型の政治を目指すことに賛成ですか。
【単数回答】

回答者の69%が、マニフェスト型の政治を目指すことに賛成しています。

N=171



参院選で問われる課題とは

問16. あなたは、次の参議院選で日本の政党が必ずマニフェストで約束、あるいは説明すべき課題は何だと考えますか。【複数回答、3つまで】

多かった回答は、「目指すべき日本の姿」、「財政再建の道筋」、「安全保障、外交の基本方針」、「経済の成長戦略」との回答でした。一方、「国と地方のあり方」や「新しい公共の基本設計」を約束、説明すべきとの回答も多くありました。

N=171

